

# 既存政策・取組と将来必要部分を見通すための整理枠組み

相手／目的	経済を回す 直近／中長期	安全を保つ 短期／中長期	独自の魅力を 高める 短期／中長期	人間のつながりを作る 短期／中長期
科学者				
学生				
産業				
機密保持要				
一般社会				

# 追加説明：「魅力を高める」方策

- 目指すところ・ルールは他国と共通の中で、方法や展開の仕方が独自であること
  - バックキャスト的発想
- これを実現するための指標の考案が必要
  - どのような共通の目標に向かって、どんな異なるアプローチでそれを実現しようとしているか。ただし、科学性は担保されているか。
  - 他国でどう「魅力を高める」ための方策（公募・審査指標などの具体的方法）があるか、調査をする価値がある
    - 外交には、他を見て我を顧みる意味もある
- 他国において目指したいが実現していないこと（ニーズ）の情報収集が必要
  - ニーズに合わせた発信・表現の仕方を工夫
    - 自利利他のバランス

# 留意点

- 「相手」を下記に分類したが
  - 学生
  - 産業
  - 機密保持要
  - 一般社会
- これらのカテゴリーを「実施主体」にした場合についても検討は可能。
  - 文部科学省の所掌範囲で。

# 今後の進め方の柱

- 既存取組の把握
  - 国による政策
    - 省庁を超えて俯瞰する必要あり
  - 財団・産業界など政府以外の取組
- 今後の政策立案・政府以外への働きかけ
  - 省庁間の分担を考案
- 伝えること（広報）
  - 特に独自・魅力について
  - 他国のニーズを踏まえるために、在外公館機能の活用
- 伝えることと伝えないことの弁別